

報道・メディア関係各位

## 三郷市の地域高齢化・介護に取り組み、 社会福祉法人を設立して3年

日本の人口ピラミッドは、団塊の世代（1947～49 生）がピークを形成しており、現在は前期高齢者に該当します。2025年にはその全員が75歳以上の後期高齢者となり、要支援・要介護の認定者が急増すると予想されます。これが「2025年問題」です。

### 1. 三郷市の地域高齢化と、要支援・要介護人口の急増

人口約14万人の“埼玉県三郷市”もその例外ではありません。

市が2015年3月に策定した「第6期三郷市高齢者福祉計画」によれば、2015年～2025年の10年間で、前期高齢者（65～74歳）は人口構成比15.8%（21,738人）から11.0%（15,617人）へと減少する一方、後期高齢者（75歳～）は8.9%（12,256人）から16.4%（23,272人）へ、わずか10年で2倍近くに急増すると予想しています。

市内の要支援・要介護の認定者数もこれに比例し、2015年に4,501人、2020年に6,545人、2025年に8,493人と、5年ごとにほぼ二千人ずつ増えると予想されます。

### 2. 株式会社の寄付を母体に「社会福祉法人 彦成福祉会」設立3年

高齢者施設を種類別に分けると、社会福祉事業には含まれない事業である「有料老人ホーム」、あるいは「小規模多機能ホーム」等は、株式会社による運営が可能のため、多くの民間が参入しています。

一方、第1種社会福祉事業である「特別養護老人ホーム」には、高い公益性と安定性が求められ、非営利の社会福祉法人、もしくは国・地方公共団体のみが運営できます。



小規模多機能+有料老人ホーム「ゆめこうぼう」



特別養護老人ホーム「彦成苑」

社会福祉法人には営利企業からの「投資」や、投資に対する「配当」、「資金回収」も認められず、法人の「資産等」は寄付によるものに限定されます。「役員等」の選任や会計でも厳しい制約と指導・監督を受けるため、民間参入のハードルは高くなります。

このような状況で、松井産業株式会社（本社：埼玉県三郷市、代表取締役社長：松井宏之）は、まず 2007 年に小規模多機能＋有料老人ホーム併用の「百年健康くらぶ ゆめこうぼう」を開設しました（当時はグループ会社「夢廣房」が運営）。

続いて 2014 年には、社会福祉法人 彦成福祉会（所在地：埼玉県三郷市、理事長：松井英司）を設立し、特別養護老人ホーム「百年健康くらぶ 彦成苑」をオープンさせました。彦成福祉会の資産は松井産業からの寄付を原資とし、現在は「ゆめこうぼう」「彦成苑」の 2 施設を運営しております。

このような歩みは、介護・福祉に取り組む法人・団体として異例とも言えます。

### 3. 松井産業(株)代表 松井孝司の「介護への取り組み」

松井産業の現代表である松井孝司は 1952 年生まれですが、2000 年（当時の役職は松井産業の代表取締役社長）に、父親で先々代の社長でもあった松井廣司を亡くしました（享年 71 歳）。

「父の生前、入院先の病院に毎日のように通った。医師・看護師・介護士が父を懸命に治療しているのに、自分はただ見ているだけで、何もできない。それが何とも歯痒かった」と当時を振り返ります。

そして「人は誰しも年を取る。せめて母親を見送るときは、自分も何か直接関わりたい」との想いを抱き、自らホームヘルパー3級の資格を取得しました。

2002 年にはホームヘルパー2級を取得し、松井産業本社の一角に「日本介護ケアサービス」という店舗を設けました。ここでは介護用ベッドや車椅子のリースと販売、バリアフリー化の手すりやスロープの展示と設置工事、和式トイレの洋式化など、松井産業の本業である建築と介護の世界、両方の接点となる仕事を始めました。

2007 年には身体介護へと事業領域を広げ、前述の「百年健康くらぶ ゆめこうぼう」を開設。この頃孝司は、ケアマネージャー、介護福祉士の資格も取得しました。

### 4. なぜ、「社会福祉法人」を設立したのか？

松井産業の DNA は、「当社はこの事業をやりたい」という意思よりも、地域のニーズや要望にお応えすることをまず優先して、その結果として自分のやるべき仕事が決まる、というものです。

小規模多機能ホーム・有料老人ホームを運営していれば、時間の経過と共に、より重度で高レベルの介護が必要となる利用者も出てきます。これは自然なことです。

そのような利用者のニーズ・要望にお応えするために、「要介護3～5」の方を受け入れることができる「特別養護老人ホーム」を開設する必要が出てきました。そして特別養護老人ホームを開設するためには、「社会福祉法人」を設立する必要があり、様々なハードルを乗り越えて 2014 年によくやく実現できたのです。

企業である松井産業。非営利の彦成福祉会。組織は違えども共有する理念は、地域の困りごとへの「お役立ち」であり、「それが我々の仕事なのだ」という思想です。

## 5. 健康寿命を延ばすために

松井孝司代表は、要支援・要介護人口の急増に対して、次のように語っています。  
『今、我々にできることは、高齢者に健康寿命を延ばしてもらい、介護の必要がない状態を、できるだけ長くキープしていただくことです。』

松井産業のリフォーム館でも実物を展示していますが、例えば家庭内にボルダリングや雲梯が設置されていれば、孫を見守りながら、一緒に体を動かすことができます。既にご自宅に取り入れて設置したご家庭が、3軒ほどあります。

またリフォーム館には酸素カプセルや人工温泉の足湯も導入しており、健康効果を自分で体験できます。今後はフィットネス用のジムマシンを導入するなど、高齢者の健康維持・増進に適した様々なツールや「こと」を体験・提案できるショールームにします。

また自分は彦成1丁目の町会長として、地域の高齢者見守りにも参加しています。町会の皆は口癖のように「百歳くらいまでピンピンして、コロリと逝きたい」と言います。「百年健康くらぶ」という施設の名称は、実は地域の方々の声から生まれたネーミングなのです。』

## 6. 若い「働き手」「担い手」へのメッセージ

『また高齢者人口の増加は、すなわち若年労働人口の減少と表裏一体の問題です。』

介護や建設・不動産の現場でも、若い働き手の確保、人材育成、そのための働き方改革が、今や喫緊の課題となっています。

幸い松井産業グループでは、今春5名の新卒採用ができましたが、まずは全員に介護の現場に入ってもらいました。

例えば高校を卒業したばかりの若者に、いきなり不動産営業をやれと言っても、スキル不足なのが当たり前だと思うのです。不動産のような単価の高い商品を扱うには、それなりの人生経験が必要です。ですから初めは高齢者の介護を通じて人間形成を行い、数年たってから希望者は不動産の仕事へとステップアップしたらどうかと提案しています。

そして30歳代、40歳代になったら、自分のやりたい分野で「起業家」になってもらいたいのです。一つの仕事を極める人生も立派ですが、これからは色々な仕事をし、様々な経験を積み、成長し、その到達点として、時代に合った未来の仕事を生み出せる「起業家」となる。そんな働き方が、時代の主流になると思います。

私自身の経験になりますが、社会人一年生の時、父親から命じられて肉屋の修行をし、三郷団地内に「松井精肉店（ミートマツイ）」を開店させました。1973年に武蔵野線が開通し、団地が生まれ、三郷市に大量の人口が流れ込んだ時代でした。

1979年に大きな転機が訪れ、初めて建築を勉強し、建設部長として現場監督や設計の仕事に就きました。丁度、団塊世代がマイホームブームを巻き起こした時代背景がありました。

そして2000年から介護の資格を取り始め、2007年から高齢者施設を始めました。今振り返ると、時代と地域の変遷に合わせて、松井産業グループに属しながらも、全く違う分野の仕事を転々としてきたわけです。私は人生における「仕事」とは、実はそういうものではないかと思っています。』

## 社会福祉法人 彦成福祉会

### および小規模多機能＋有料老人ホーム「百年健康くらぶ ゆめこうぼう」概要

所在地：〒341-0001 埼玉県三郷市彦糸 1 丁目 180

TEL：048-959-7511 FAX：048-959-7512 HP：<http://www.yume-kaigo.co.jp/>

小規模多機能ホームでは「通い」「訪問」「泊り」のサービスが受けられ、木造平屋建てなので緊急時の高齢者の避難も容易であり、地域に溶け込んだ施設です。

### 特別養護老人ホーム「百年健康くらぶ 彦成苑」概要

所在地：〒341-0004 埼玉県三郷市上彦名 127 番地 3

TEL：048-957-6111 FAX：048-957-6112 HP：<http://www.hikonarien.com>

木造 2 階建てで自宅に近い地域の介護施設です。全個室 29 室を 3 グループに分けた「ユニットケア」で、一人一人の個性を大切に、その方に応じたケアを行います。

\*彦成福祉会の広報に関しては、松井産業(株)広報室が兼務します。



松井産業(株)代表 松井 孝司

#### ◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

松井産業株式会社 広報室（広報担当：大山 雅史 携帯:090-9380-4740）

本社所在地：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 1-1

TEL：048-957-3211 FAX：048-959-2818

広報室 e-mail : [kouhou@matsui-sangyou.co.jp](mailto:kouhou@matsui-sangyou.co.jp)

コーポレートサイト：<http://sumo-saitama.jp/>

注文住宅サイト：<http://www.matsui-sangyou.co.jp/>

